

令和 6 年度宝達志水町定住促進協議会 議事録

開催日時 令和 6 年 8 月 6 日（火）
14：00～15：15
場 所 宝達志水町役場 2 階 第 2 応接室

出席者（敬称略）

宝達志水町	副町長	松 榮 忍	
宝達志水町商工会	会長	市村 昭代史	
宝達志水町観光協会	会長	川端 慎二	
宝達志水町区長会	副会長	山口 学	
はくい農業協同組合	常勤監事	上野 浩幸	
県宅地建物取引業協会	派遣常務理事	瀧口 幸太郎	欠席
のと共栄信用金庫	押水支店長	新江 保治	欠席
北國銀行	羽咋支店長	武田 慶介	(代理) 寺崎 陽子
移住者		西 絵満	
移住者		鈴木 悠子	
七尾公共職業安定所 羽咋出張所	所長	岩網 哲雄	欠席 オブザーバー
いしかわ就職・定住 総合サポートセンター	主任	梅田 一輝	オブザーバー
事務局 宝達志水町企画情報課	課長	坂井 賢	
	課長補佐	河端 晶	
	主任	北野 徳一	
事務局 株式会社ぶなの森	代表取締役	高峰 博保	
	移住コーディネーター (地域おこし協力隊)	池田 勝	

次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 協議会の役員の選任について
 - (2) 協議会について・・・・・・・・・・資料 1、資料 2
 - (3) 令和 5 年度の活動実績報告・・・・・・・・資料 3－1
(マイホーム取得奨励金の制度内容の変更について)・・・・資料 3－2
 - (4) 令和 6 年度の事業計画・・・・・・・・・・資料 4
 - (5) その他
- 3 意見交換
- 4 閉会

協議記録

1 開会

- ・欠席委員報告
- ・委嘱状配布による委嘱
- ・資料の確認

2 議事

・(1) 会長、副会長の選任について

協議会規約に基づき、「役員は委員の互選によりこれを定める」旨を説明

自薦、他薦がないため、事務局に一任とし、会長、副会長を選出

- ・議事の進行を松榮会長に依頼

(会長)

本町は消滅可能性自治体に挙げられ、一段と少子高齢化が進んでおり、合併時1万6000人から1万2000人まで減った。ただこの人口減少は想定済みであり、10年前から少子高齢化を防ぐため、地方創生総合戦略を策定し、人口減少を緩やかにしようとして取り組んできた結果、社会保障人口問題研究所のよりも緩やかであったため、少しは効果があったものとする。

人口減少の一途をたどっているのは間違いなく、更なる対策を講じていかなくてはならない。地方には人口減少を止める、人口を増やす取り組みが大きく分けて2通りある。

一つは出生率。現在、町は1.36人。国の人口規模を維持するには、2.07人合計特殊出生率が必要であるがこれは長期的に考えていくもの。

国の出生率は減ってきており、東京都では1人を割った。人口を増やすには子どもの数を増やすことのみ。子どもの数を増やして国を維持していくという長期的な取り組みである。

一方、地方には短期的に人口を増やす方向性も。町のことだけを考えれば、町民を町外に出さない。町外にいる方に来てもらうということ、各地方やっている。これは即効性が期待できるもので、こぞって全国の自治体はこういう取り組みをやっており、それが今日の定住促進の会議である。定住促進のことにつきまして、委員の皆様それぞれの見地からご意見、ご指摘いただきたい。

(事務局)

- ・(2) 協議会について、資料1、資料2に基づき説明

- ・(3) 令和5年度の活動実績報告について資料3-1に基づき説明、報告

- ・昨年度協議会を2回開催予定であったが、地震の影響で開催できなかったことを報告

- ・マイホーム取得奨励金の制度内容の変更について、資料3-2に基づき説明

- ・現状、被災者からの申請が少ないが今後増える想定であることを報告

- ・(4) 令和6年度事業計画について、資料4に基づき説明

- ・地震の影響があり、地震後から今年度に入っても利用状況が低調である旨を説明

・先日初めて開催した移住者交流会について、今後は移住者だけの交流ではなく、地域の方々との交流の場として、開催したい旨を説明

- ・(5) その他について、広報抜粋資料5を用いて紹介、説明

・町広報以外にも、ホームページ、メール、LINE等を用い幅広く周知し、今後も広報周知に努める旨を説明

3 意見交換

(会長)

次第に沿い、委員からの質問、意見を伺う。

(オブザーバー)

資料にある被災者とは七尾市より北で被災され、町内に新しい住居を求めている方という認識でよろしいか。また町外から来られた方々は仕事を続けられているか。

(事務局)

奥能登方面が多いが、加賀の方もいる。被災移住者はご高齢の方が多く、仕事はされていない方、自営業の方が多い。または継続して町内から通われる方もいる。

(オブザーバー)

アイラックでは県内各地で被災者向けの仕事相談会を開催しているので、ご案内いただければありがたい。

(委員)

マイホーム取得奨励金が始まったのは何年か。

(事務局)

前名称の住宅取得奨励金の頃からであれば合併当初からある。マイホーム取得奨励金へ名称変更は平成 31 年。内容はほぼ変わりなく、奨励金額の増加、加算金の増額等の追加がある。

(委員)

町民 45 歳以下の年齢制限を撤廃とあるが、これに引っかかり定住をやめたとか、もらえるものと思って定住したがもらえなかったなどの事例はあるか。

(事務局)

町民からお問い合わせいただいた当時は年齢制限があったため、申請できないとお断りした方はいらっしゃる。何件かなどの記録はない。

(委員)

定住したけどもらえなかった方はおられるか。例えばあったとして、年齢制限撤廃となったため遡及して支給するなどの考えはないか。

(会長)

町民が家を建てられたとき、45 歳以下ならマイホーム取得奨励金申請できたが、45 歳以上だと申請できなかった。震災の関係でその年齢制限を撤廃することとなった。

震災で被災された方が町にいろいろと求められ、直接私にも何件も問い合わせがあった。「珠洲、輪島の家が被災したためどこか探している。少しでも地元に近いところで、宝達志水町も候補にある」という相談があった。結局マッチングできなかったが、震災がポイントとなり、マイホーム取得奨励金の条件を町に来ていただきやすいように見直した。

・皆さんの意見をいただき、まだ変えるべきところは変えていきたい。いろいろと提案を

お願いしたい。

(オブザーバー)

アイラック主催移住イベント、いしかわ UI ターン大相談会、今年度も 9 月、11 月に東京大阪と今準備を進めている。

宝達志水町から、もっとこうしたいなど何かご意見があれば、検討したいと思う。我々も集客がもう一歩欲しく、どうしたら伸びるかという具体案がなかなか出ない中、継続している。

我々も集客面を頑張っているが、運用の面での要望、相談された方からのご意見などあれば知りたい。

(事務局)

何度か参加し、アットホームな良い雰囲気を感じた。UI ターン大相談会は、石川県を検討して相談される方が多いので、話しやすい。

東京会場が 12 階と高いところで、少し入りづらいため駅直結の会場など、アクセスが良ければ言うことはない。大阪会場についても同じ。

(オブザーバー)

今年の大阪会場は関西テレビビルになり、ご意見と反対で昨年よりも大阪駅から遠くなるが、集客のプロモーションをしていただけたため、今回お試しで会場変更となった。吉と出るか凶と出るか、その際はまたご意見いただきたい。

(委員)

移住フェアにはすごく興味あった。石川に移住を決めるための情報は、検索して取りに行かないと情報がなかったため、インスタグラム等 SNS を使い、石川移住、地方移住に興味がある方に情報が届くようにしてみてもは。移住などのハッシュタグをフォローしてる人に届けることができると思う。

(委員)

移住に関して調べたとき、自治体にどういう支援があるか全部調べた。宝達志水町は暮らし体験の家があったので、訪れやすかった。

移住関係の YouTube 動画などをよく見るが、やはりホームページ、SNS、そういったところに移住体験、移住フェアの申し込みフォームなどを載せて、動線ができると申し込みやすいと思う。

(会長)

両委員のおっしゃる通り。今はスマートフォンだけで十分。調べて興味が沸いたらそこへ行く、と。まずは来てもらえるためのネタを載せないといけない。

(委員)

若い方はインスタグラム、YouTube 等で検索するので、注力すべきはそこかと思う。

(オブザーバー)

2 人は石川県以外の県、市町も候補には挙がったか。

(委員)

ありました。田舎がいいなと思って岡山県なども探していた。夫が1回富山出張に行つて、その後石川県に遊びに来て、石川県はすごいいいねとなり、そこからずっと県内自治体を調べ、金沢も近くて田舎なところに惹かれて決めた。

宝達志水町はすごい良さがある。金沢も近いし、田舎で自然がすごく楽しめるので、その人のニーズに合ったコンテンツがあるとすごくヒットしやすいと思う。

(オブザーバー)

石川県が一番いいと思ったきっかけはあったか。

(委員)

埼玉が実家で、関東から北陸新幹線ですぐ行きやすいため。また、海があったところがいいと思い、海がある方を選んだ。海山川があるところ、アクティビティが好きなので、それを求めて決めた。すごく気に入っている。

(オブザーバー)

よかったです。ありがとうございます。ぜひお友達も。

(会長)

委員という立場でもありますので、そうやって輪を広げていただくことを期待します。

(委員)

広報はいろんなやり方あると思うが、関東ふるさと会、関西ふるさと会がかなり盛り上がっている。そこと連絡をしながら、またふるさと会の方々のお子さんとかにも情報を出していったらいいと思う。

空き家が足りないということを区長会、商工会理事会などにもアピールして、常に足元を押さえながら進めていただきたい。

紙媒体は出したら広報終わったという感覚になりやすい。だけどあくまで人対人ですから、そのベースはきちっと保ちながらやっていただきたい。

(事務局)

ぜひ商工会の理事会、役員会で一度お話をさせていただけるとありがたい。

(委員)

商工会に言っておきます。1年に1回はやっていただきたい。区長会代表の山口委員も来ておりますから、区長会にも来ていただけたらいい。

(事務局)

例年、区長会でお話をさせていただいているので、また機会あればよろしく願いします。

関東ふるさと会の方とSSTRで知り合い、知人が家探しに来るから案内してくれ、と頼まれ探し回ったことがあります。

(委員)

SSTRは1万人以上の方が来られる。千里浜海岸にまた来たいという人もいると思う。

(事務局)

SSTR 参加者で、宝達志水町で家を探したいと問い合わせいただいたこともある。SSTR はいいきっかけになっているので、もっとコンタクトが取れるといいと思っています。

(委員)

SSTR は今年もありますからこういう情報を流す方法を考えて欲しい。

(会長)

関東、関西ふるさと会に私も出席し、いろいろと話をし、話を聞いて来た。そのあたりにいかに有効に使うかというのはおっしゃる通り。SSTR が今年 10 月開催なので、町として PR をしていないと思っている。

(委員)

町内に来てもらうということで、SSTR の話もありましたが、目に留まる対策として SNS を使ったいろんな投げかけは当然する必要があると思いますし、町外から来てもらうのも大事だが、町内から出さないことを重点に置いてほしい。

この町に育った人たちが、他のところへ行ってしまったら一緒なことになってしまう。それを引きとめる対策を。例えば自分たちの子が一緒に住むとなったら、なかなか難しいので、町内でどこか違うところに家を建てて住んでもらうような対策を作って欲しい。

自分は町行財政改革審議会や、まち・ひと・しごと総合戦略会議にも出させてもらっている。それらの会議で自分は今後、宅地分譲をしっかりと積極的にしていかないと駄目、という考えを持っていたが、他の委員さん方は見直した方がいいんじゃないかという話も出ており、残念に感じた。

色々な審議会があるが最終的な考えは一緒に、どうやって町の人口を保って、活発化させていくかというのが今後の課題であり、少しでも人を呼び込んだり、町から出さない対策をもっともっと積極的にやってほしい。時にはチャレンジも大事である。

(会長)

確かにその通りで、この会議では空き家等既存のものを有効に利用していくという一方で、町全体の広い意味での人口減少対策とすれば、宅地分譲、整備が必要であることは、重々承知で、仕掛けていきたいと思っています。総合戦略会議時、宅地分譲については確かにそれほど意見がなかった。

(委員)

宅地整備は進めていかないといけない。かほく市の学園台は看護大ができる前はずっと禿山だったが、のと里山海道が 4 車線化、無料化になったらあっという間にいっぱいになった。造成されたときは、合併前の高松町長に対して非難轟々な部分もあったと思うが、先を見越して成功した。宝達志水町は頑張っているかもしれないが、積極的な動きがないのは本当に残念と感じる。

(事務局)

宅地造成についてはずっと最初から提案をしている。中能登町が人口減少率が低いのは、各駅ごとに宅地分譲し、どんどん住宅が建って、七尾市、志賀町、羽咋市などから転入し、家を建て、仕事は他市町に行ったりされていると伺っている。

宝達志水町はさらに金沢に近く、町内に駅が三つもあるので、駅近く歩いて行ける範囲

に宅地を作り、金沢から家を建てに来ていただくように誘導できるかだと思います。

能美市でも同じことが起こっている。能美市は宅地分譲は民間事業者が作られ、何とか丘みたいなのところがいくつもでき、金沢辺りから転入している。それをぜひ目指していたきたい。

（会長）

学園台はあまりにも売れなかったため、合併前の高松町は値下げした。当時、合併前の押水町でも宅地分譲しており、そのあおりを食い、押水町も下げざるを得なかった。既に買われた方には損失補償で、宅地値下がり分を補填まで行った。

その内間違いなく学園台は埋まると思っていたら、やはり埋まった。今後、町にその波が寄せてくると思っている。

（委員）

受け入れる側から意見として。田舎なので新しい人が移住されると、どういう人なのか気になります。特に近所の人は知りたがる。その個人情報、区のほうにどこまで知らせてもらえるか。あとどういう方向性であるとか知らせてくれたほうが、近所付き合いも早くなる。

（事務局）

良さそう移住希望者がいた場合は、区長等に会ってもらえるのが理想です。区長がおっしゃるような話は必ず出るため、他の自治体でもそうしているところもある。

事前に顔見知りになるほうが、移住されてからも区長、公民館長等にフォローしていただけていてという話を聞きますので、今後いろいろ面倒をかけるかもしれないが、お願いします。

（委員）

区の人のもどういう人が移住したか気にするし、事前に会えればコミュニケーションが取りやすい。

（事務局）

個人情報開示はややこしいので、顔合わせをし、自己紹介をして、こういうことで来たいんです、という話をできれば。

（会長）

合併直後、移住定住に関する話を区長さん方としてましたら、とある区長さんは、来ていただくのは非常に嬉しい。でも心配もある。うまく馴染めるかとか、そのあたりが非常に悩ましい、と意見があった。

（委員）

皆さんいい人だが、やはりたまに悪い人がいないかと心配になる。それが区長、町内の者としては気になるところです。

（会長）

・おっしゃる通り。池田さんとは一緒の在所ですが、うちの在所にすっかり馴染んでい。移住されてから区長にあいさつされていた。区の寄り合いでも、池田さんの紹介があ

りましたし、近所の方とも非常に上手く馴染んだ。池田さんの場合は非常に上手いこと入ってこれたなと思いましたし、近所のお姉さま方から愛されてる感じでした。

(事務局)

移住希望者で地域に馴染めそうにない人は、やんわりお断りしてる人が実は何人かいます。時々、地域の皆さんに迷惑をかけそうな、非常に主張の激しい人がいる。そういう方をやんわりと断ることは、私どもの立場であれば可能。行政ではなかなか対応はしにくいと思うが、そこが民間に事務局を預けていただいている意味だと思います。

この人は危ない、というのを会社の中で共有しながら関わっています。

(会長)

それを聞いて安心しました。大事なことなので、それをミスるとその集落には今後、なかなか人を呼んで来れないのと、区の人に拒絶反応が出てしまう。

池田さんばかり例に挙げて申し訳ないが、本当にスムーズに入ってこられた。他の集落でもそのようなマッチングができればいい。

(事務局)

宝達集落は移住者が何人かいるが、やはり最初の青江さんご夫妻が非常に地域の皆さんと良い関わりをされているから。地域の皆さんが祭に来ないのに、移住者3組は最優先で祭に参加したり、草刈りなどもしっかりされ、地域の皆さんの評価が非常に良い。移住された方と地域の人との関わり方が非常に上手く回ってる例だと思います。

(委員)

北國銀行ではコレゾという街を紹介する SNS があるので、特産物や魅力を伝えられるものをぜひ教えていただきたい。

個人の方、事業をされる方や新しく支援金を受けたい方へ、いろんな部署があるので、連携して皆さんのお手伝いをしたい。

(会長)

特産品というワードが出ましたが、町はルビーロマン、お米等が挙がると思うんですが、こちらに来られてどうか？

(委員)

私はどちらかというと自然の豊かさに惹かれた。大阪で10年間アウトドアメーカーに勤め、金沢店でも働いていた。宝達山は雪が降るエリアなので、初心者が雪山ハイキングを始めるのにすごく人気があり、問い合わせがすごくあった。

医王山と宝達山はかなりお問い合わせがありました。私の勤めてた会社では医王山のツアーはやっていた。あと湯涌のツアーもやっていた。宝達山もできるんじゃないかと思えますし、かんじきを自分で作って登るなどのイベントを他のツアーでやったこともあるので、需要があると思います。

(会長)

アウトドアという観点で、定住促進とは違いますが、良い意見で非常にあります。

(委員)

そらいろのたねの方もすごく山が好きで、トレッキングができるからその麓に住まれたと聞いたので、山好き、トレッキング好きの需要もかなりあると思います。

住んでいるところは歩いて行けるとところにブドウ園があるのが魅力的で、散歩ついでに買って食べる楽しみもあります。

もう一つは JA はくいの自然栽培塾に通い、農業を少し楽しんでいる。東京、福岡からも来られて、農業をやりたい若い方が結構多く、宝達志水の方もいる。金沢からも宝達志水の畑をやりに来てる方もいる。ちょっとだけやってみたいという需要はかなりあると思いますし、観光菜園があったら、友達も紹介できるし嬉しいのだが、羽咋には借りれる畑がありませんと聞いているが本当ですか？

(委員)

試験農園というのはある。あとは地主の土地をお借りしてするか。ただそれだけではあまり稼がないので、アルバイトして生活の足しにしたり。農業を生業にしたいのかということ、しっかり聞いてから対応させてもらっている。

趣味で自然栽培のものを食べたいという方もいるので、そんな人の対応もさせてもらっている。本当に農業だけで食べていきたいという方は、空いたときに農協施設で、ラジコンヘリを使った防除作業の手伝い、ライスセンターや稲刈りの手伝いなど、年間を通じてできるだけ農業に携わってもらってここに住んでもらうというような対策もしています。

(事務局)

補足しますと、町では地域おこし協力隊員 4 名が新規就農を目指して頑張っています。また去年移住体験に来られた人が、今年の春から県の耕稼塾に通い、はくい農協管内で新規就農目指して、この間羽咋の山手の方にあるスイカ畑へ体験に行っていました。

(委員)

愛知県から来て新宮に移住された方で、この間スイカ作業を手伝っていただいた。家と一緒に田んぼも買い、地元消防団にも入っていただいた。新宮にとっては貴重な若手、人材です。

(会長)

空き家+農業をいかにして結びつけていけるのかが重要ですね。

(オブザーバー)

私から二つ。石川就職定住総合サポートセンターの UI ターンサポート石川は、基本的に県外にお住まいで、石川県に移住したい方の転職のお手伝いをさせていただく、ハローワークのような機能があります。求人をお預かりしているので、ぜひ宝達志水町の企業で、ハローワークに求人出している企業がなければ案内いただきたい。

県外の方をターゲットにしているので、ハローワークのようにスピード感ある紹介はできないが、やはり移住を考える上で転職は重要なファクターだと思います。いろんなエリアの求人が多い方がいいので、商工会、金融機関の方も、可能であればお声掛けいただきたい。

東京、大阪の県外イベントに企業も何社か出ていただき、説明会を行っていますが、なかなか能登の企業で出ていただけたところが少ない。交通費は実費負担していただくので、なかなか難しいと思うが、いろんな地域の企業に出ていただけた方が移住希望者に説明しやすいので、ご紹介いただければ大変ありがたい。

もう一つ、**資料2**の委員の皆様へのお願いで、我々いしかわ就職・定住総合サポートセンターの新規就農希望者へのサポート体制との情報提供という記載があります。これは就農したい相談者がいたら、はくい農業協同組合にお繋ぎすればよろしいという認識でいいですか？就農の相談を受けたときは石川農業総合支援機構、INATOにいつもお繋ぎして、おまかせしているが、宝達志水・羽咋エリアはこちらにもお繋ぎしてよろしいか？

(委員)

こちら県との繋がりがありますので、そうしていただいて大丈夫です。

(オブザーバー)

わかりました。お繋ぎするときは羽咋・宝達志水に移住を希望している方ですか？例えば七尾に移住する場合、支援対象外であるとか、条件はありますか？

(委員)

就農先がはくい農協管内であれば、羽咋市と宝達志水町になります。住まいは関係ないが、できれば町内に住んでいただけるのが一番良い。よそから通勤していただいても大丈夫です。

(事務局)

場所が決まってない場合は、ぶなの森に繋いでいただければ。求人出しているところ、求人出していないが、本当はスタッフが必要な農業法人もあるのでいくらか案内できる。

今日の午前中、珠洲市の農業法人の社長とそういう話をしました。被災してもうこれ以上続けられない、辞めそうな人が珠洲市で何人もいるため、その跡を継いでくれる人を今のうちに探さないと、農地が荒廃していくことが見えてるので、専業農家としては何とか仲間を増やしたいという意向だったので急遽、資料を作って説明はしてきた。そういうサポートもしているので、いろんなところに使えると思います。

(会長)

奥能登の復旧はなかなか難しいと思う。農業然り、宅地・地面も空いていきます。そこばかり目がいってしまうが、こちらもぜひ忘れないように、協力をお願いしたい。

(委員)

昨年協議会の意見交換で、区で道路愛護、河川愛護等の奉仕作業についていろいろ話題が挙がっていた。草刈り機買おうと思っても高いし、6時集合で行ってみれば、5時から作業してて半分以上終わって、というような内容であった。草刈りを外注するという事になったら行政の支援があるのか、区もこれからもっと高齢化が進む中で、このまま奉仕作業が続けていけるのか、そういった方向性の案、ご意見をお持ちかなと思います。

あと私の店でよそから来たお客さんと話すと必ず「万雑って何？」という話が出る。移住される候補の方々に集落の習わし、しきたりというか、そういうのも事前にレクチャーされてるとか、そんなことも含めてお聞きしたい。

(事務局)

区長のところにご案内すると必ずその話をしていただいています。地域のルールとして万雑が一番わかりにくいと言われる。地域おこし協力隊OGの山田さんが作った、集落のテキストにはそういうことを書いてある。そういうことは繰り返しいろんな場面で伝えし

ていく必要がある。

道路愛護等の作業は、どの地区もされているので、そういうことが嫌な人は残念ながらこの地区には向かないということになると思います。参加されない人がいると、うちはいらないみたいな話が、最初に移住定住活動を始めた能登町でいっぱいありました。年配の方が移住して、全く地域の活動に参加しない方がおり、その地区では「もう今後一切移住者はいらん！」と公民館長に言われたところもあります。そういうこともあったので、慣行的なことは事前に伝えるようにしてますし、そういう話を区長からしていただくのが一番スムーズだと思います。

（委員）

一般的に聞いた話ですが、田舎の万雑の方が、都会よりも高いと言われた。

（委員）

万雑は高いと思いました。でも奉仕作業は、皆さんとコミュニケーションができる場所であり、皆さんと一緒に草を刈ったり、花を植えたり、そこはすごくありがたい。埼玉だと回覧板が回ってくるだけで、そういうコミュニケーション取る機会がない。

すごくいいことなので続けてほしいと思う。うちも草刈機を買い、苦戦しながらやっているのも、平和だと思う。で、その後みんなで公民館に集まって、一緒に飲んで、いろいろ話聞いたり、盛り上がるのもすごくいいなと感じます。すごく年齢が高い方は難しいかもしれないが、若い方を大切にするのであれば、そういうのも楽しんでもくれる方もいると思います。

（事務局）

相対的に若い人の方が活動に参加しようと意欲を持っている方が多いです。年齢が行けば行くほど、そういうことを嫌がる傾向があるので、私どもとしてはできるだけ若い人を、とは思っています。

（会長）

道路愛護は役場から各集落にお願いして、1年に1回実施いただいているが、高齢化で人が減り、こなしきれないという話は10年20年前から挙がっています。その一環として、各区同士で連携する取り組みをしたが、うまくいかなかった。

地域の存続に対する一番大きな課題になることは間違いない。定住という観点からは若干違うが、地域を続けるということに対して少子高齢化が非常に大きな問題である。なかなか良い解決策は出ていないが、外から来られた方の意見は、非常に新鮮に感じます。またいろいろとご意見いただきたい。

（委員）

町外に人を出さないというところだと、ティラノサウルスレースが開催されていたが、町内外みなさん集まって、すごい楽しいイベントだと思う。

移住者の会に参加した後、西さんご夫婦と、同じく移住されてきたワインのソムリエ資格ある方と一緒にご飯食べたりなど、移住者のコミュニティが広がっている。

移住する前は田舎暮らしがすごく楽しみできた。ご飯も美味しいし、たくさんあるコミュニティを池田さんが繋げて広げてくれたり、楽しいことがたくさんある。それをすごく広めていきたいし、そういうことができるといいなと思っています。

二口の方に「なぜこんなところにきたの？絶対埼玉の方がいい」と言われるが、私からすれば、埼玉は人とのコミュニティはないので全然良くなく、こっちの皆さんはすごく仲良

くしてくださるので、すごく居心地の良いところだと思うので、それを広めていきたい。

4 閉会

(事務局)

皆さん、今日はどうもありがとうございます。長時間にわたりいろいろなご意見をいただきまして、また参考にさせていただきたいと思います。

話の中にありました、広報活動の方ももっともっとやっていかないといけないと思っていますし、今年度は移住された方の交流会を初めて開かれたということで、今後も続けていただきたいと思います。

移住された方がこの町が良かったっていうことをどんどん発信していただければ、今後来ていただける方もそれにつられてとは言いませんが、そういうふうになっていけばいいなと思っています。今後ともよろしくお願いしたいと思っています。

(事務局)

以上で本日の協議会を終了します。ありがとうございました。